

ひかりの未来

ひかりの「まち」「ひと」「もの」を未来へとつなげていくため
さまざまな取組を展開しています

未来 まちづくり

光駅周辺地区 の整備

光駅を中心に、まちの玄関口にふさわしい魅力ある都市空間づくりに取り組んでいます。現在、駅のバリアフリー化や新たな南北自由通路、駅前広場の整備に向けた取組を進めています。



新産業団地

周防工業団地と大和工業団地の間に、新たな産業団地を整備する取組を進めています。地域経済の活性化や雇用の創出、移住・定住など、さまざまな効果が期待されます。



未来 ひとづくり



小中一貫教育では、小・中学生が一緒に行事や活動を行い、教員が相互に乗り入れ授業をするなど、小中のなめらかな接続に配慮した取組を展開しています。



小中一貫ひかり学園の推進

令和2年度から、現在の中学校区の小・中学校をひとまとまりとして、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を開始し、義務教育9年間で連続性のある質の高い教育を推進しています。その教

育効果をさらに高め、こどもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、小・中学校の施設が一つになった「施設一体型小中一貫ひかり学園」の新設に向けた取組を進めています。

伊藤博文公の遺徳継承

初代内閣総理大臣の伊藤博文公は光市の生まれであり、その遺徳を伝える施設や面影が数多く残っています。

伊藤公記念公園内には、伊藤公の遺品などとともに幕末から明治末までの日本の動きを学習できる伊藤公資料館をはじめ、伊藤公自らが基本設計した旧伊藤博文邸、伊藤公の産湯に使われたとされる



数え年9歳までこの地で過ごし、地元には数多くのエピソードやゆかりの地が残っており、訪れるだけで当時のロマンと伊藤公の足跡に触れることができます。

井戸、幼少期に登って遊んだとされる柿の木(二世)、生家(復元)など、その生涯や業績を今なお物語っています。

さらに光市では、伊藤公の功績の一つである憲法制定や外交交渉にも寄与した語学力やコミュニケーション能力を次世代のこどもたちに継承していくため、英語スピーチコンテストを実施しています。



伊藤公の卓越した英語力にちなみ、伊藤公カップ英語スピーチコンテストを開催しています。小学5・6年生から中学生まで、自分の思いや考えを英語でスピーチすることで、表現力やコミュニケーション能力の向上を図っています。

未来 × ものづくり

武田薬品工業

武田薬品工業は「すべての患者さん(Patient)」、「ともに働く仲間(People)」、「いのちを育む地球(Planet)」のためにデータとデジタルの力でイノベーションを起こすことを約束しています。昭和21(1946)年開設の光工場は、最新技術と知識を集積したグローバル製造拠点の1つとなっています。



日鉄ステンレス

日鉄ステンレスは国内最大の総合ステンレスメーカーで、昭和30(1955)年に八幡製鐵(現日本製鉄)の光製鐵所として開設後、現在はステンレス鋼の主力工場として事業展開しています。世界屈指の技術力で私たちの生活を支える商品を生み出しています。



カンロ

カンロは日本を代表する菓子メーカーで、大正元(1912)年に宮本製菓所として光市で創業。ひかり工場ではロングセラーの「カンロ飴」や「金のミルク」など多くの人に愛されている商品を製造し、「心がひとつぶ、大きな瞬間」を提供しています。

